

週間感染症情報

2026年23週～24週 2026年6月1日より2026年6月14日まで

23週 24週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)	1	
百日咳		
溶連菌感染症	1	5
手足口病	9	18
ヘルパンギーナ	4	8
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	47	19
ロタウイルス(再掲)		
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	4	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	7
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	2	2
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス	1	
インフルエンザ		
インフルエンザ A		
インフルエンザ B		
新型コロナウイルス感染症	2	1

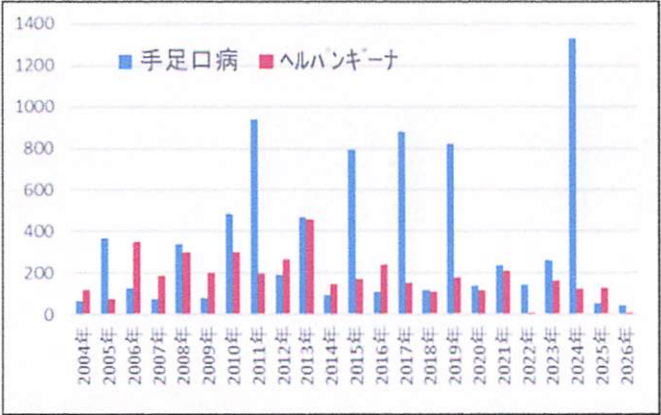
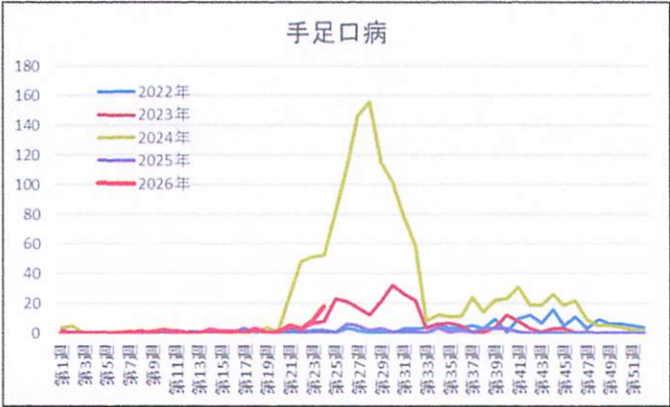
2週間分の報告です。インフルエンザの報告はありませんでした。新型コロナウイルスは1～2例で散发例で終わりました。百日咳の報告はありませんでした。溶連菌感染症は減少しました。

手足口病・ヘルパンギーナなど夏のウイルス感染症が増えてきています。潜伏期は3～5日で、症状軽快後もウイルスは数週間便に排出されます。発疹が残っていても、解熱して給食が食べれるほど元気になれば登園できます。「みんなかかって終わり」です。

右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2026年は、23週までに525例と増加しています。多くは、ワクチン未接種や不明の症例です。2024年、世界で47万例の報告があり、9万5000人が亡くなっています。麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。年長さんは夏休みまでにはMRワクチンを接種しましょう。

感染性胃腸炎の大きな流行はありませんでした。カンピロバクターや病原性大腸菌による報告も増えています。摂食歴に注意してください。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)